



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

板事業の現況と今後の取組み

常務執行役員 板事業本部長

橋本 圭造

2023年6月7日

株式会社UACJ



板事業全体の需要環境と現況



アルミ板のグローバル需要見通し

グローバルでアルミ板の需要は年々増加

アルミ板需要増加の背景

環境に優しい容器を求める世界的な需要



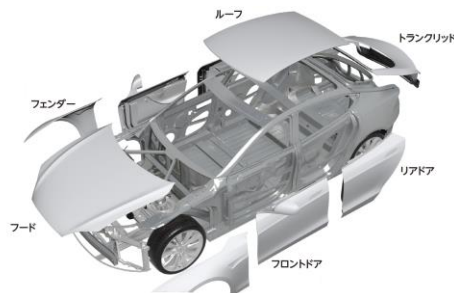
缶材: アルミの持つリサイクル性の高さを活かした循環型ビジネス(Can to Can)



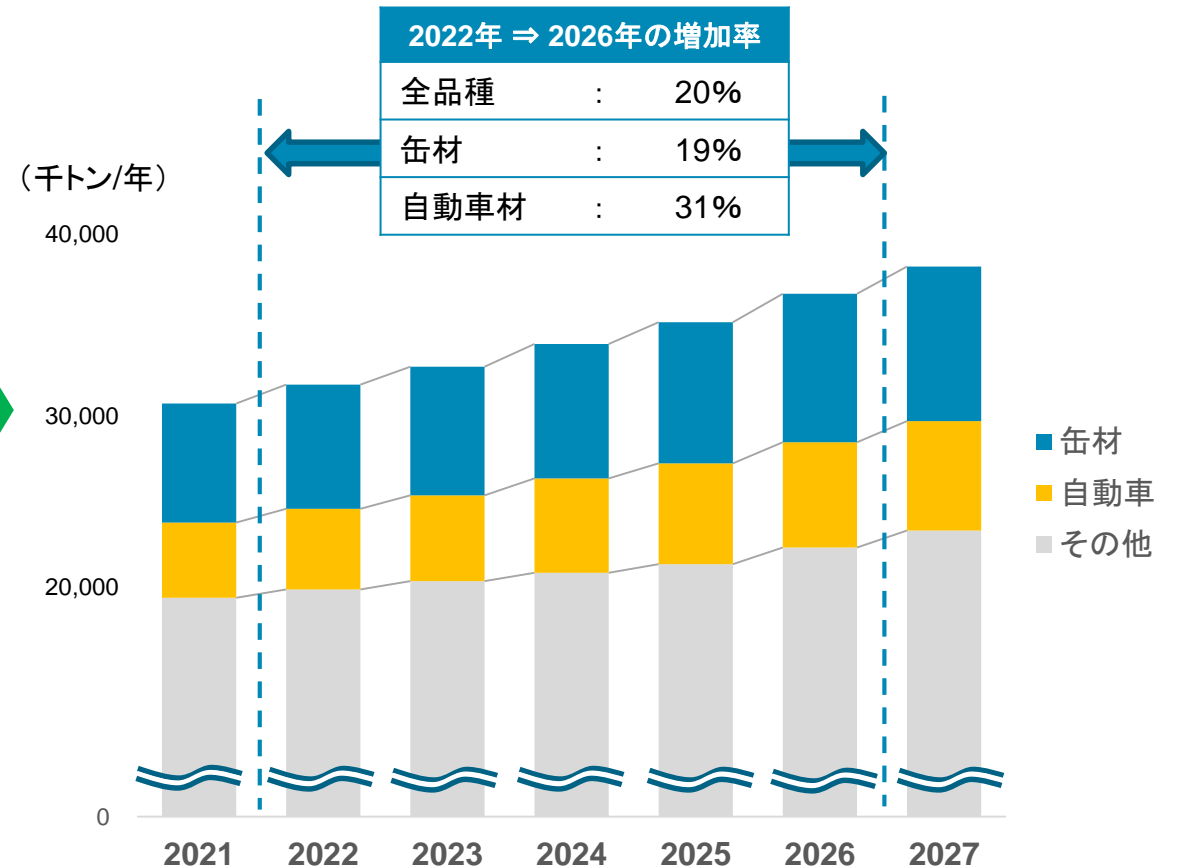
脱炭素化社会の実現



自動車材: 軽量化実現のためアルミ採用車種・部位の拡大に加え、電動化による電池関係の需要も増加



アルミ板のグローバル需要見通し



※UACJ調べ(2023年2月)

世界3極供給体制を活かしグローバルで150万トン/年の供給を目指す

日本 : 稼ぐ力の向上

強固な顧客基盤、多品種・多用途への対応力。
構造改革・価格スキーム是正による環境変化に強い収益構造。
成長分野への注力、リサイクル循環の推進。

UATH ^{※1} : 34万トンに向けた体制強化

東南アジア唯一の一貫工場として
グローバル供給体制、域内リサイクル循環スキーム構築。

TAA ^{※2} : 中長期的に旺盛な北米需要の獲得

中長期的に旺盛な北米缶材市場にて強固な顧客基盤。
収益拡大、投資の回収を目指す。

板事業本部

3極運営によるグローバル供給
それぞれの強みを伸ばし収益最大化

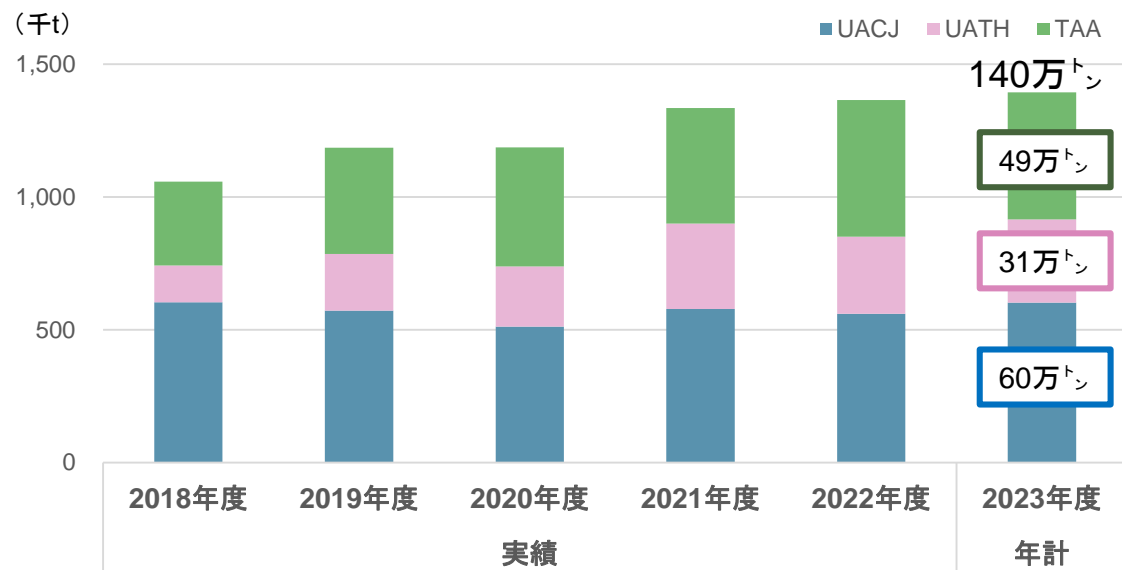
※1 UATH: UACJ(Thailand) Co.,Ltd

※2 TAA: Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.

板事業3極合計の販売量と経常利益の推移

堅調な需要を背景に、板事業3極合計の販売量・経常利益は増加傾向

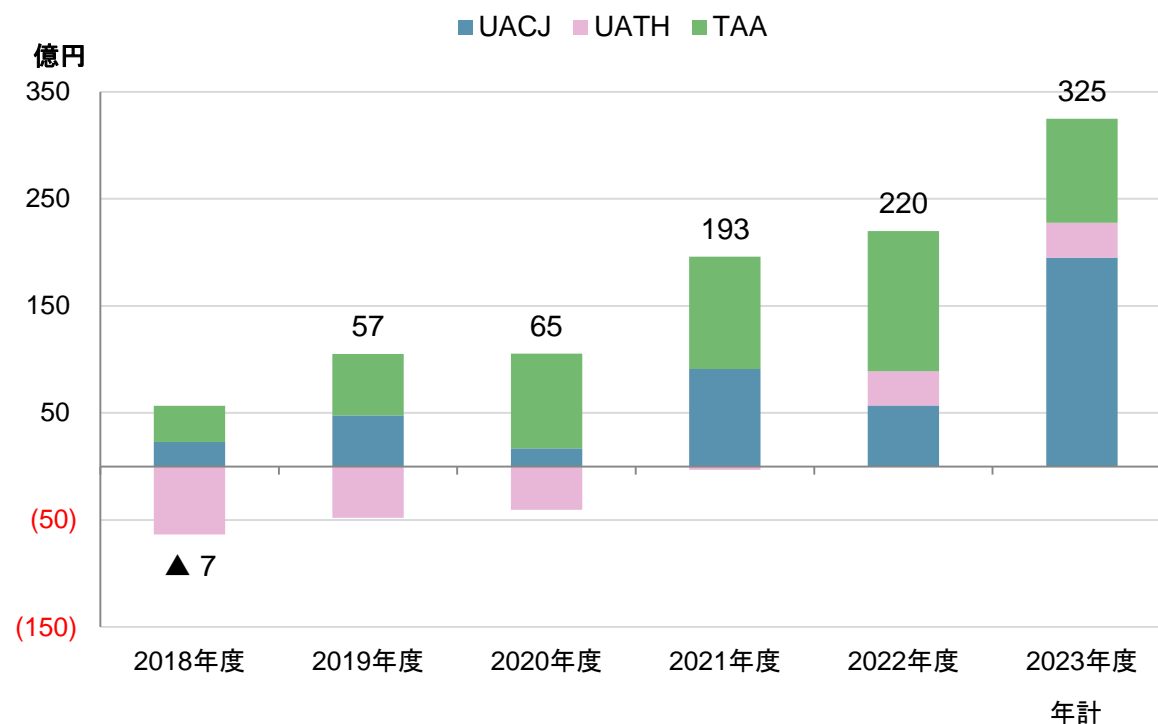
年度別国内外3拠点の販売量推移



2022年度～2023年度 約140万トン

将来 3極トータルで150万トン体制へ

板事業 3極の棚卸資産影響前経常利益の合算



販売量増加

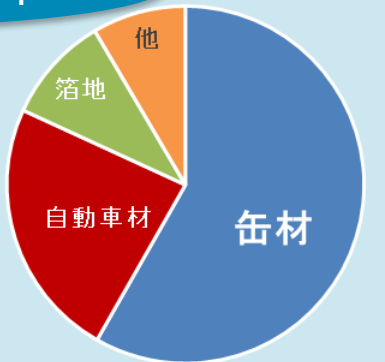
経常利益改善

国内3製造所、UATH、TAAの強み

強固な顧客基盤、ニーズに合わせた製品設計力、生産能力を生かした事業展開

2023年度 29万トン/年

缶材・自動車材を中心に
圧倒的な競争力で、品質・
納期・サービスを提供する



福井製造所

2023年度 27万トン/年

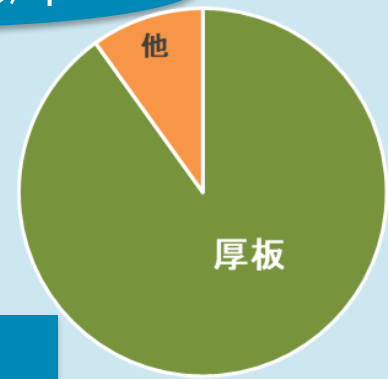
多品種・多用途への
対応力で、お客様の
新たな価値創造に貢献



名古屋製造所

2023年度 4万トン/年

先進の技術で、
厚板の付加価値を創造

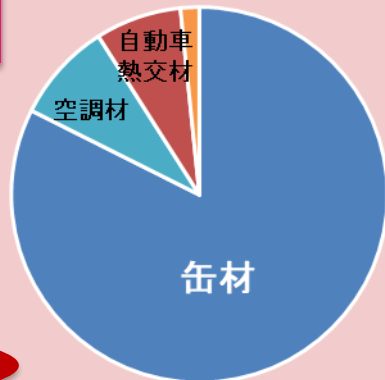


深谷製造所

各拠点の特色を生かした供給体制

UATH

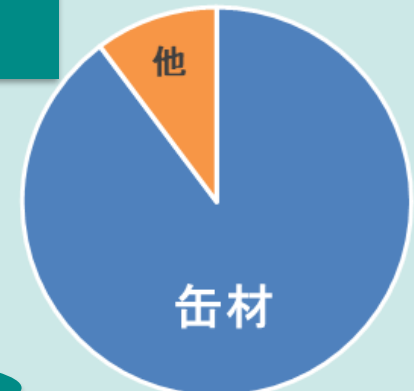
缶材に加え、空調材、
自動車熱交材の
グローバル供給拠点



2023年度 31万トン/年

TAA

缶材中心の米国拠点



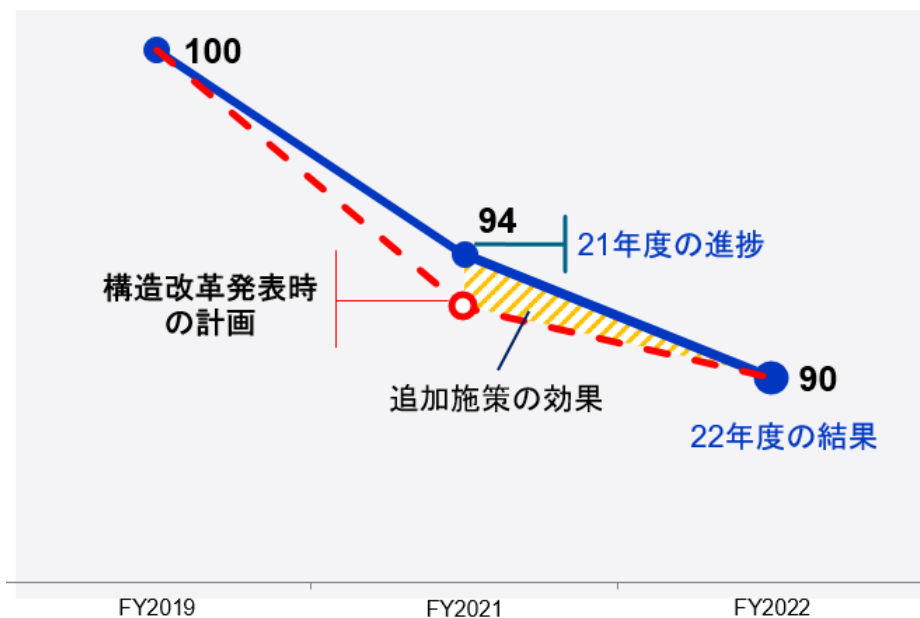
2023年度 49万トン/年

国内板事業の販売動向と損益見通し

販売動向

主力の缶材・自動車関連を中心に国内3製造所合計で60万トン/年の販売を目指す

国内板事業の損益分岐点(2019年度を100とした時の指数)

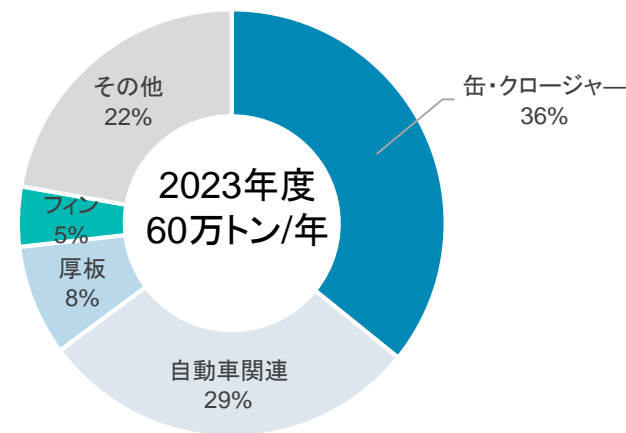


- 高採算品の拡大
- 製造集約

損益分岐点の改善

稼ぐ力が増加

2023年度の販売品種構成



缶材: リサイクル推進し、安定的な受注を目指す

自動車関連: 自動車生産台数の回復に伴う販売増
電池向け需要の取り込み

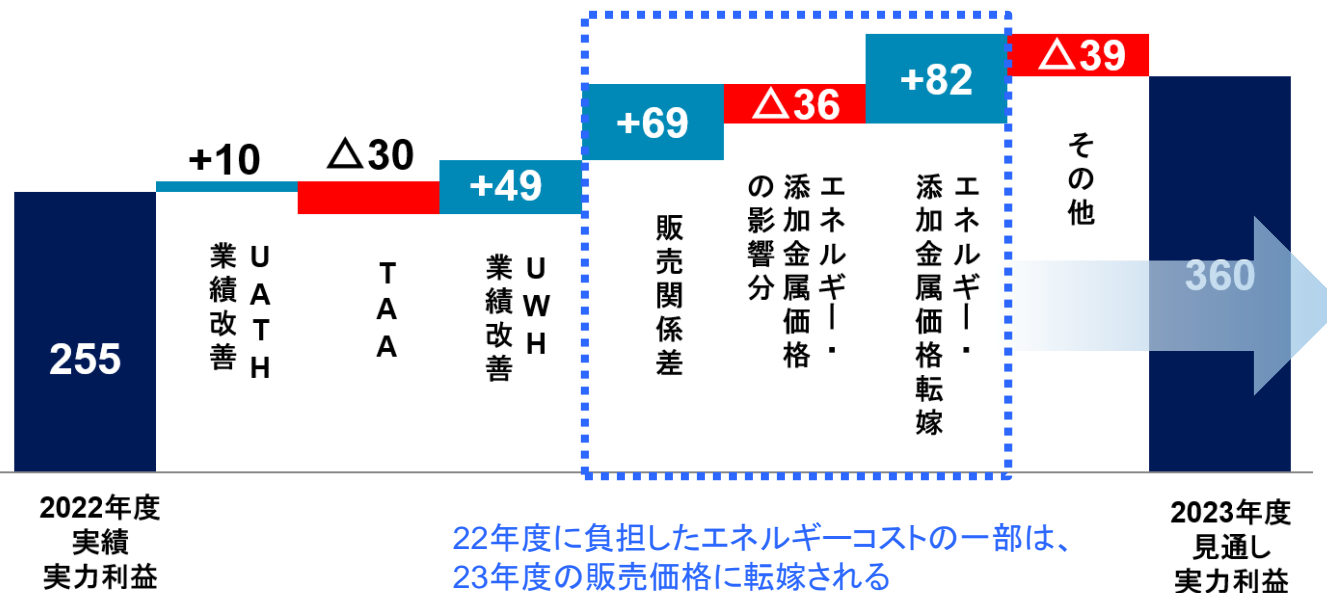
厚板: 中長期的な半導体需要拡大、燃料運搬船需要取り込み

IT・電機・エアコン等: リサイクルを活かした受注活動

相場変動に応じたコスト転嫁スキームを実施済み

22年度→23年度 棚卸資産影響前営業利益の増減(連結/IFES)

(単位:億円)



エネルギー価格、添加金属の相場変動

⇒ 経常利益の減少(変動)要因

- ✓ エネルギー
 - ✓ 添加金属
- 相場変動に対応したサーチャージ
フォーミュラを導入済
- ✓ 数量増、高採算品の拡大、価格改定

2022年度下期より導入、2023年度より年間寄与

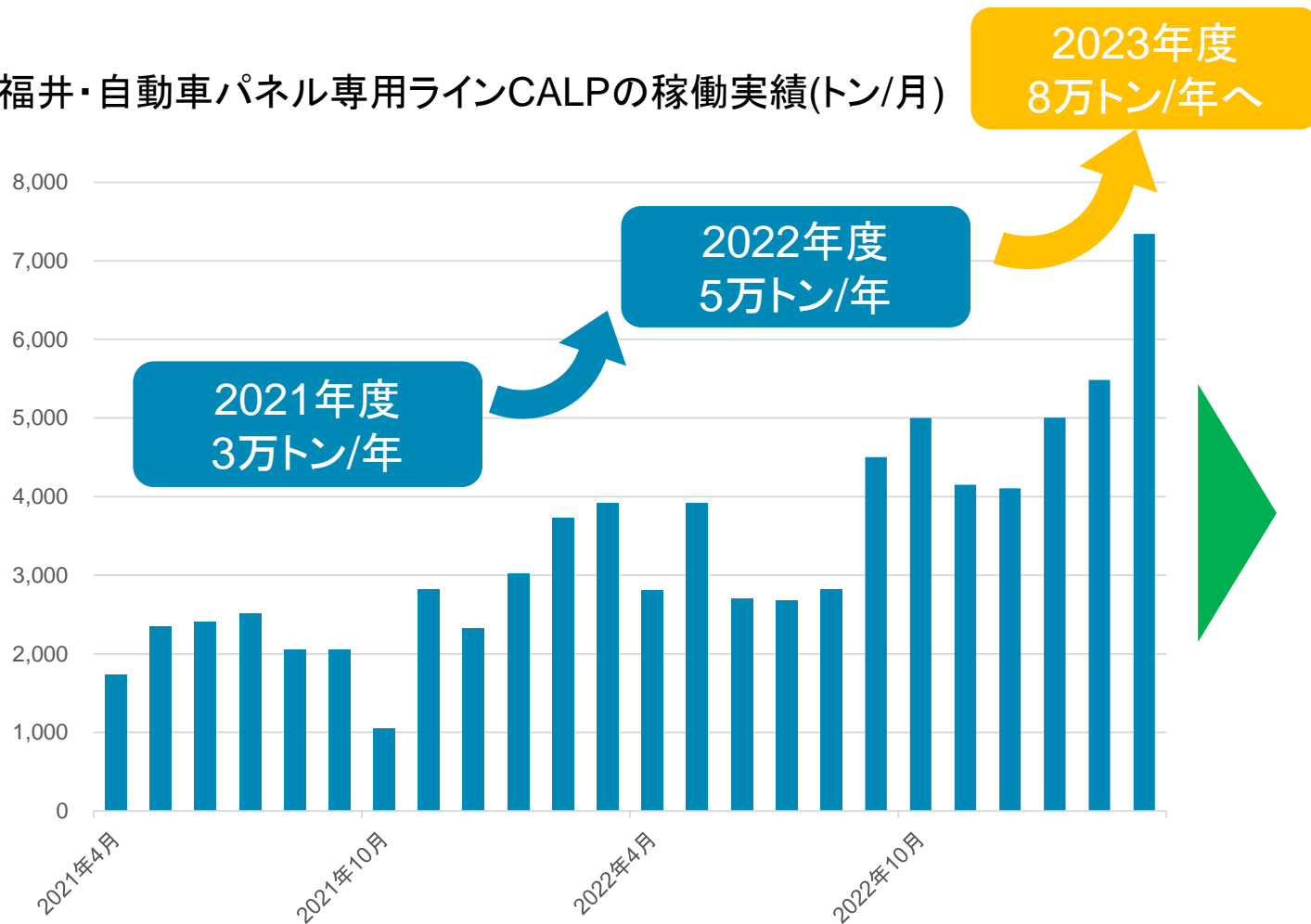
2023年度以降: 価格スキーム是正効果は増加

成長分野への取組み

- 自動車材
- 厚板(半導体関連)
- 空調フィン材
- リチウムイオン電池向け箔地
- 缶材
 - 東洋製罐GHD様との業務提携
 - 山一金属様との合弁契約

旺盛なアルミ需要を取り込み、福井CALP立上げ完了。環境対応、新規用途開発を推進中。

福井・自動車パネル専用ラインCALPの稼働実績(トン/月)



■環境対応

・クローズドリサイクルの推進



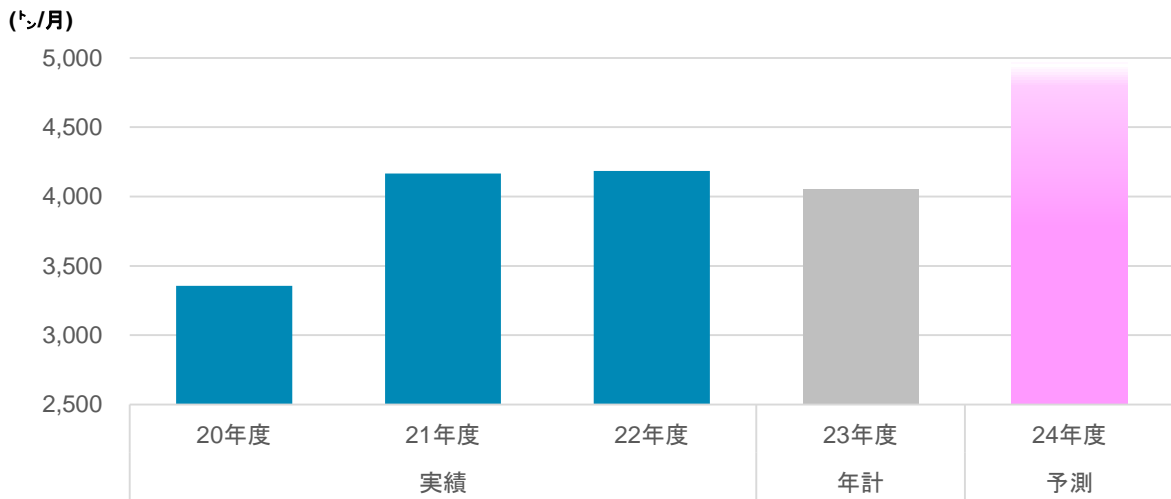
・グリーン地金、再生原料を活用した「UACJ SMART マスバランス」の展開

■新規用途開発

- ・電動化への対応(電池パック部材等)
- ・軽量化に伴う適用部品拡大

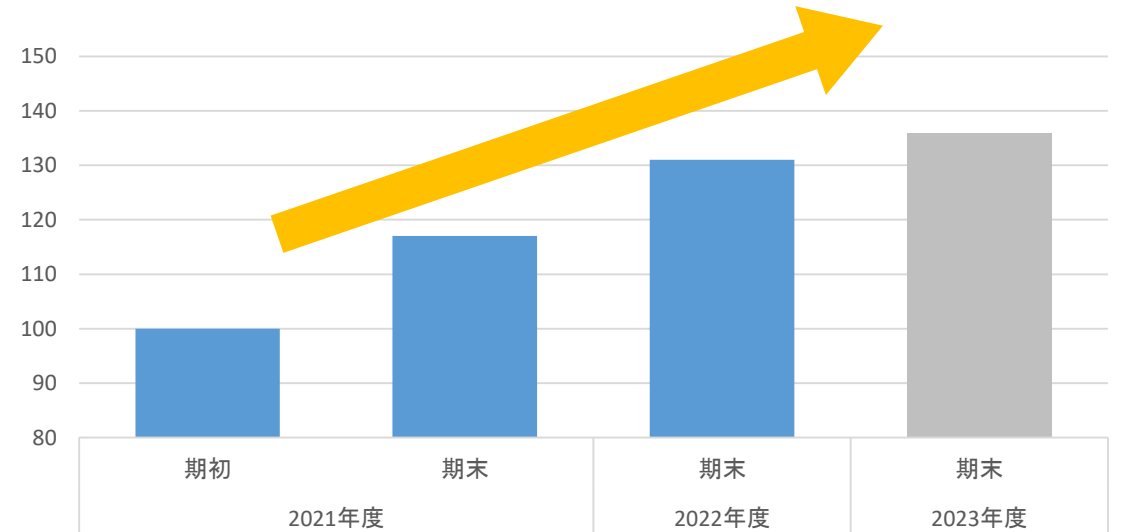
2024年度以降の半導体製造装置向け等の需要回復に対応すべく、厚板生産性向上

厚板販売量実績と見込み



厚板販売増への製造対応

厚板生産性向上の推移 (2021年度期初を100とした時の指数)



半導体製造装置の需要状況(UACJ調べ)

2022年度実績	:	対前年度7%の増加
2023年度見込み	:	対前年度▲11-12%の減少
2024年度見込み	:	対前年度17-18%の増加

深谷製造所・福井製造所

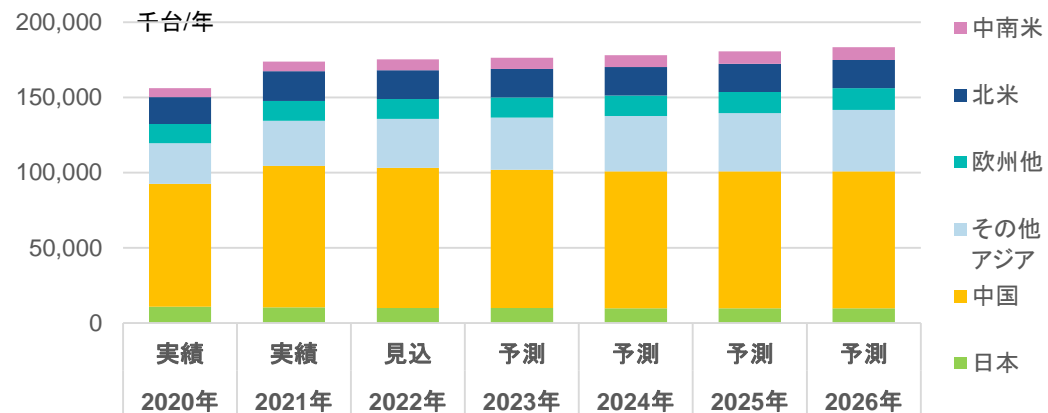
ボトルネック解消
歩留改善

生産性向上

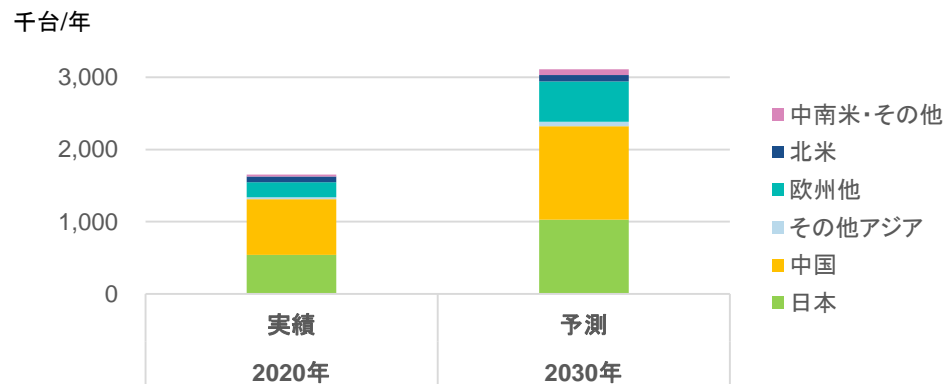
日系顧客との技術開発と海外市場伸長への対応

製品種別・地域別販売動向

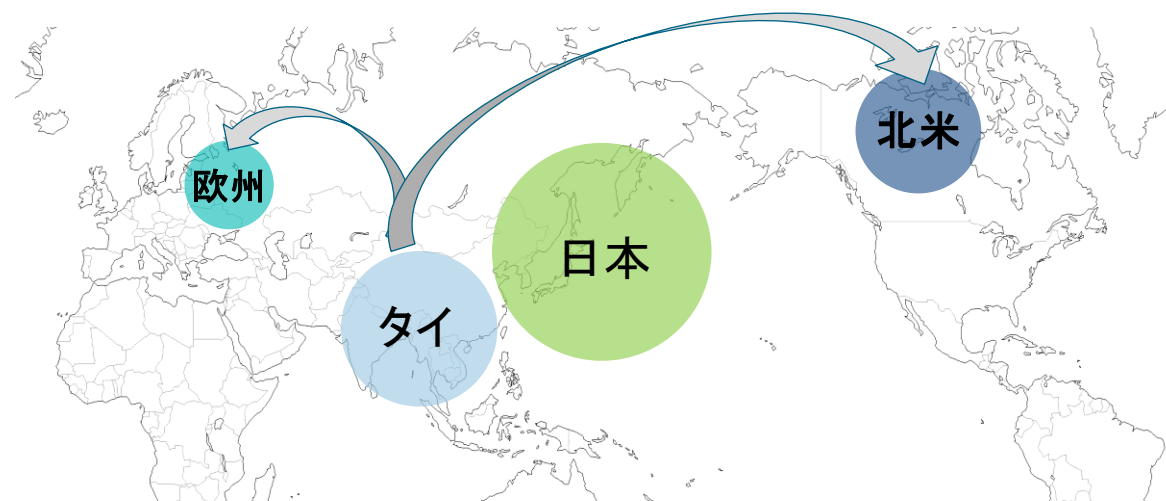
● ルームエアコン、パッケージエアコン市場



● ヒートポンプ式暖房給湯器市場



市場ニーズに合わせた供給体制

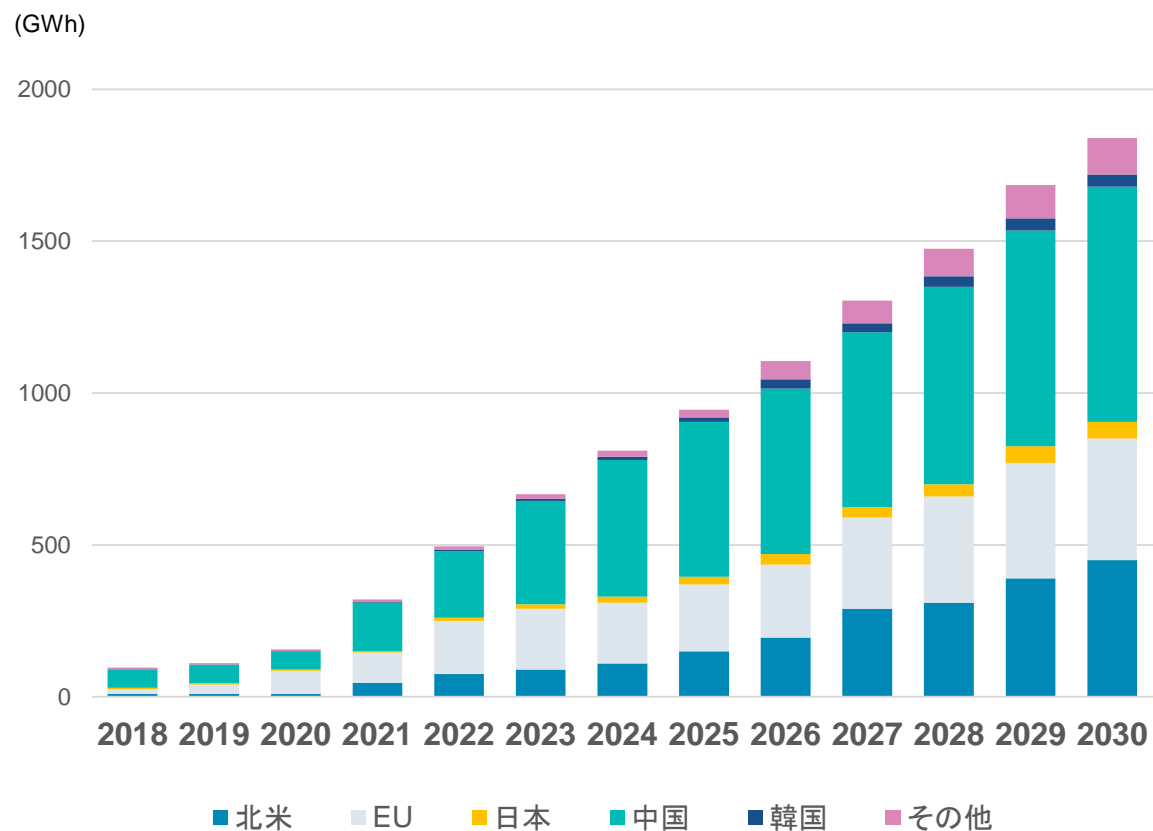


- ・ 日系エアコンメーカーとの強固な関係・新規技術開発
- ・ 空調市場は2050年までに3倍以上に伸長
- ・ UATHから東南アジア・米国・欧州を中心に供給
- ・ 北米インバーターエアコン、欧州ヒートポンプ式給湯暖房の需要拡大に対応

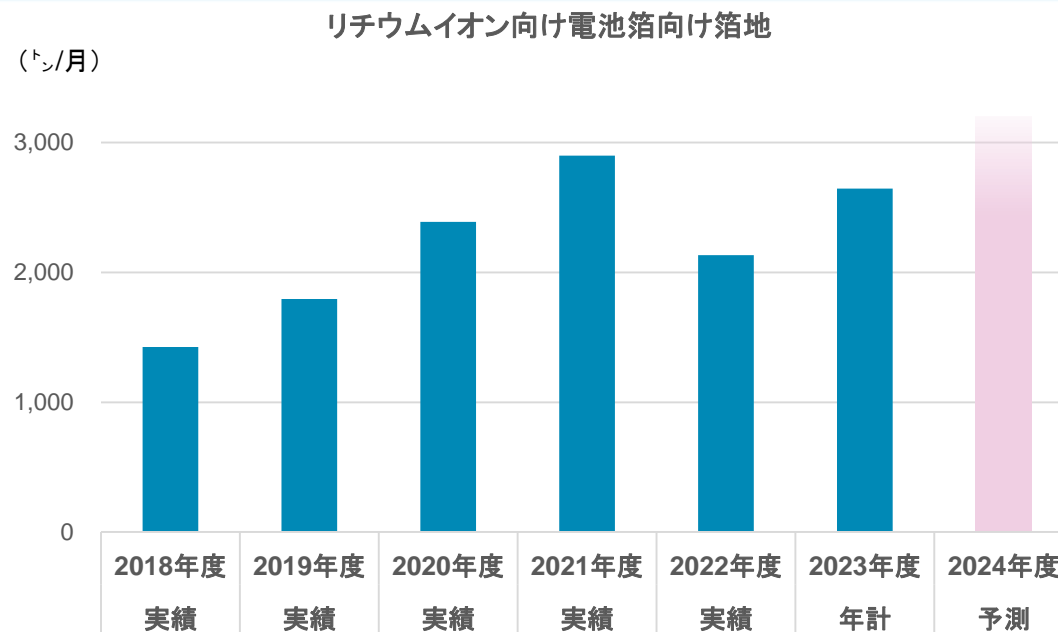
リチウムイオン電池向け箔地

リチウムイオン電池市場の成長に伴う旺盛な需要を見込む

リチウムイオン電池の需要動向



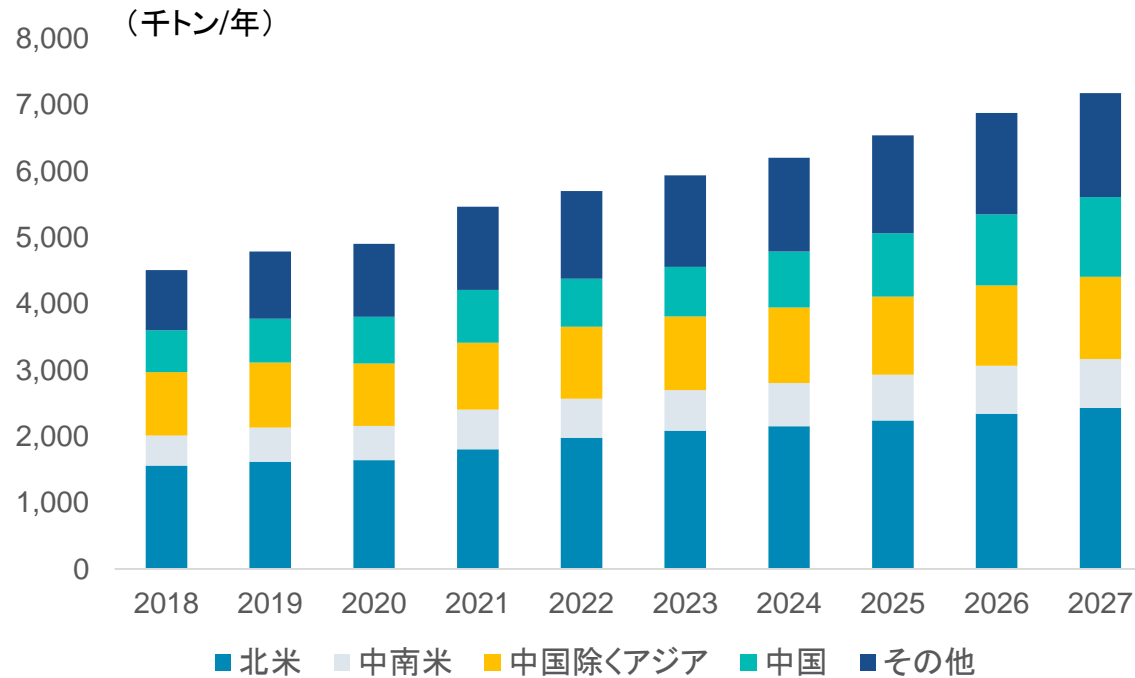
2023年までの販売状況と需要見通し



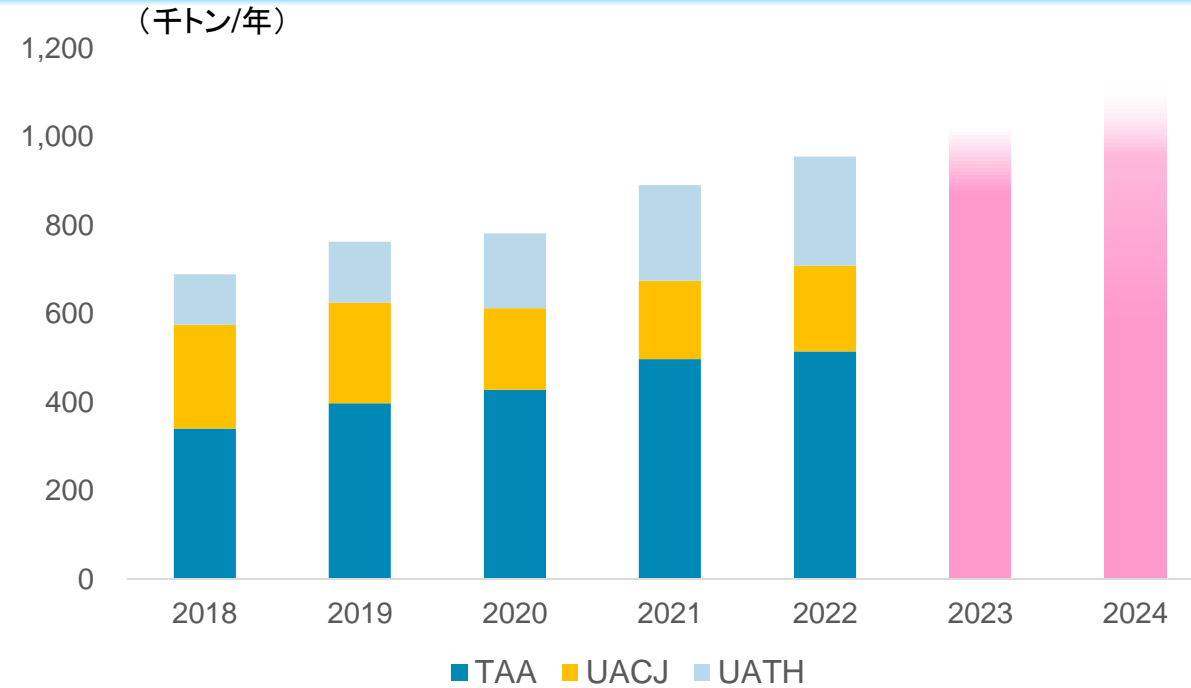
- ・リチウムイオン電池用箔で高いシェアを持つ国内箔メーカーに対する安定供給
- ・北米、欧州、韓国の需要拡大

引き続き世界3極供給体制にて旺盛な缶材需要を取り込む

缶材のグローバル需要



3極の缶材販売量推移



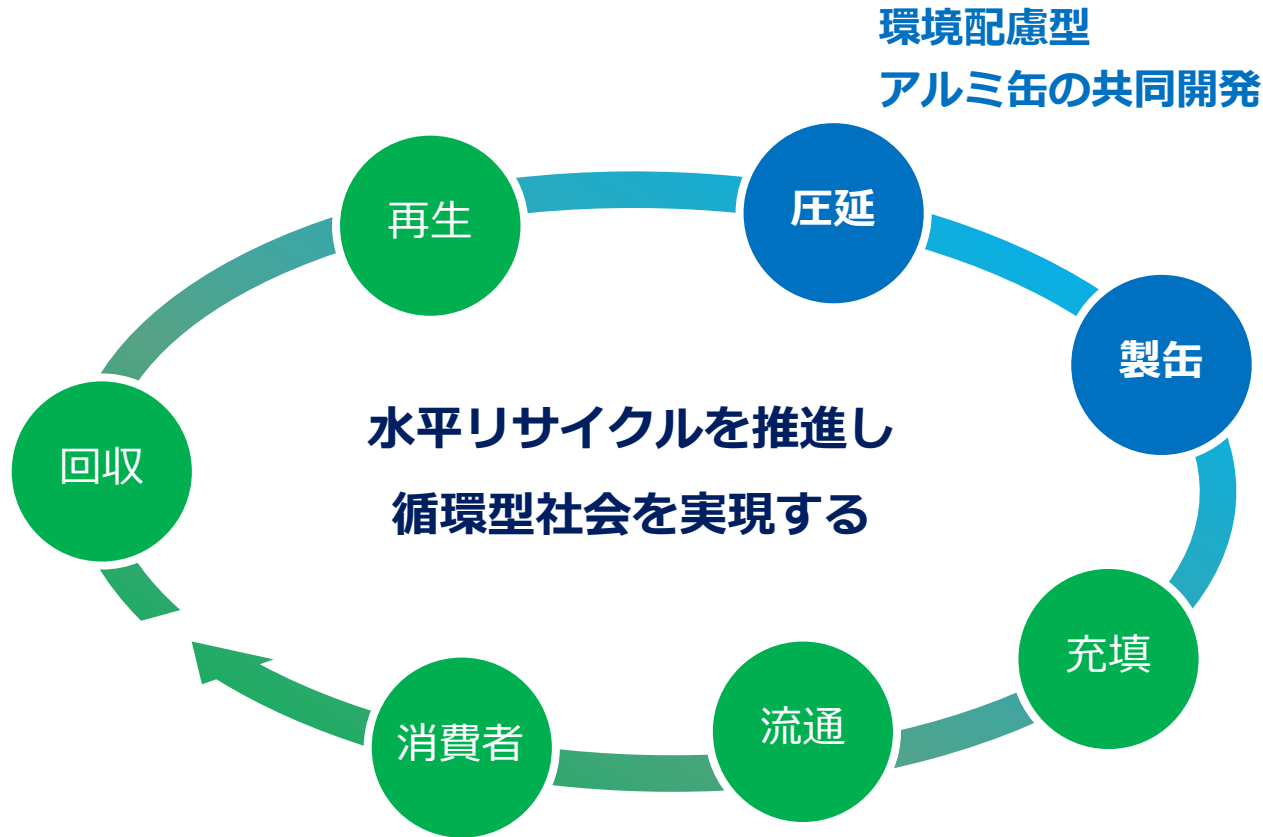
3極における缶材分野への取り組み

日本: 外部とも協力しながら、水平リサイクル促進し、アルミ缶の価値を高める

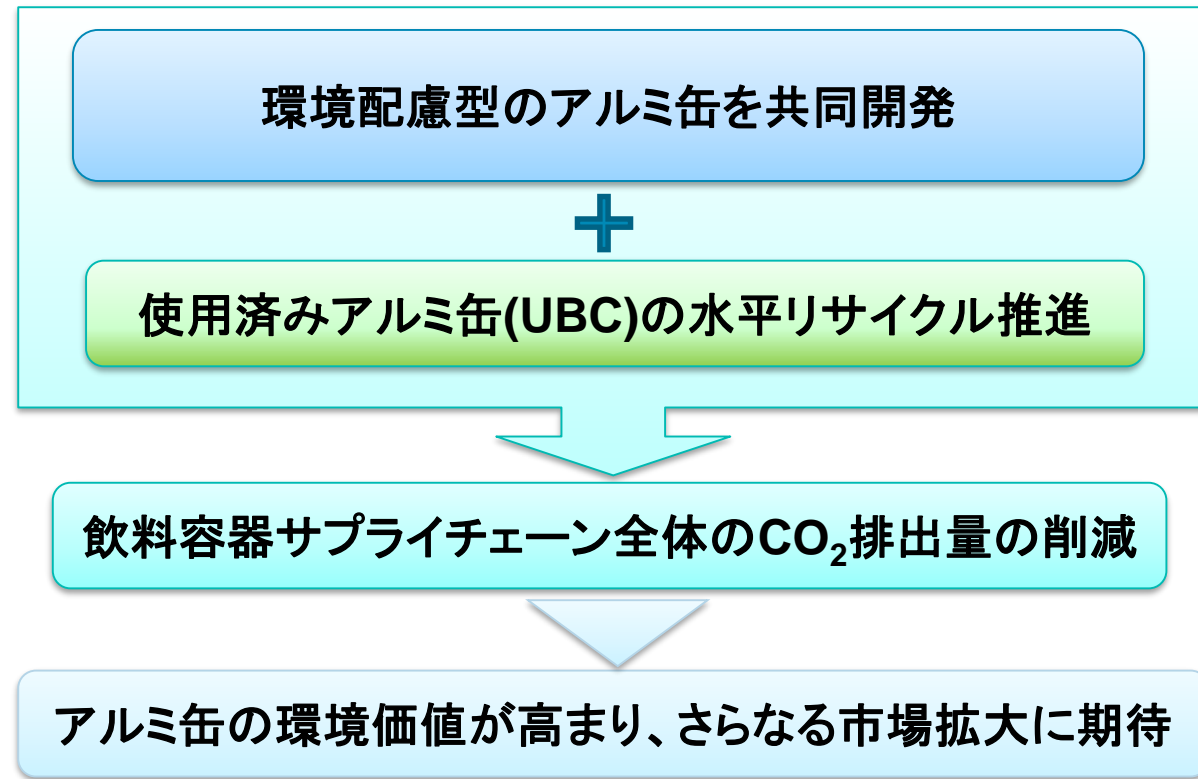
TAA: 設備増強により旺盛な需要を取り込む

UATH: 域内の水平リサイクル促進しつつ、旺盛な需要な需要も取り込む

両社の持つ技術の融合により、飲料容器サプライチェーン全体のCO₂排出削減へ



使用済みアルミ缶の
水平リサイクル推進の検討



※UBC: 使用済みアルミ缶 (Used Beverage Can)

缶材 国内取組み2 : 山一金属様とUBC加工処理に関する合併契約を締結(水平リサイクル推進)

UBC※の「溶解リサイクルシステム」の構築により、循環型社会実現に向け貢献



合併会社設立と溶解リサイクルシステムの構築
⇒UBCの加工～溶解までを一貫化し、
サプライチェーンの流れを強固に

UBCの使用率増加

「Can to Can」のリサイクル率を高めた製品を供給

- ◆ 飲料缶サプライチェーン全体のCO₂排出量削減
- ◆ 循環型社会実現に向けて貢献

UACJ
UBC加工処理設備を設置し、
リサイクル率を高めた製品の供給

山一金属様(アルミ缶リサイクルのシェア約20%)
UBCなどの原料調達、
ノウハウや技術提供



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界